

28伊監第17号
平成28年8月19日

伊那市長 白鳥 孝 様

| | |
|---------|---------|
| 伊那市監査委員 | 登 内 正 史 |
| 同 | 伊 藤 穂 波 |
| 同 | 伊 藤 泰 雄 |

平成27年度伊那市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、平成27年度伊那市公営企業会計の決算を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

| | | |
|---------------|---------|-----|
| 第1 | 審査の対象 | 6 1 |
| 第2 | 審査の期間 | 6 1 |
| 第3 | 審査の手続 | 6 1 |
| 第4 | 審査の結果 | 6 1 |
| I 水道事業会計 | | |
| 1 | 事業の概況 | 6 2 |
| 2 | 予算の執行状況 | 6 2 |
| 3 | 経営成績 | 6 4 |
| 4 | 財政状態 | 6 6 |
| 5 | 総括的意見 | 6 9 |
| II 下水道事業会計 | | |
| 1 | 事業の概況 | 7 4 |
| 2 | 予算の執行状況 | 7 5 |
| 3 | 経営成績 | 7 6 |
| 4 | 財政状態 | 7 8 |
| 5 | 総括的意見 | 8 2 |
| III 自動車運送事業会計 | | |
| 1 | 事業の概況 | 8 8 |
| 2 | 予算の執行状況 | 8 9 |
| 3 | 経営成績 | 9 0 |
| 4 | 財政状態 | 9 1 |
| 5 | 総括的意見 | 9 1 |

平成27年度伊那市公営企業会計決算審査意見

第1 審査の対象

平成27年度 伊那市水道事業会計決算
平成27年度 伊那市下水道事業会計決算
平成27年度 伊那市自動車運送事業会計決算

第2 審査の期間

平成28年7月15日から7月27日まで

第3 審査の手続

審査に付された決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書について、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、関係諸帳簿その他証書類との照合及び関係職員から説明聴取等により審査を実施した。

第4 審査の結果

審査に付された各会計の決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属明細書は、関係法令に準拠して作成され、各事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

契約事務等については概ね適正と認められたが、今後も条例・規則等に基づいて合理的で的確な事務処理に努められたい。

I 水道事業会計

1 事業の概況

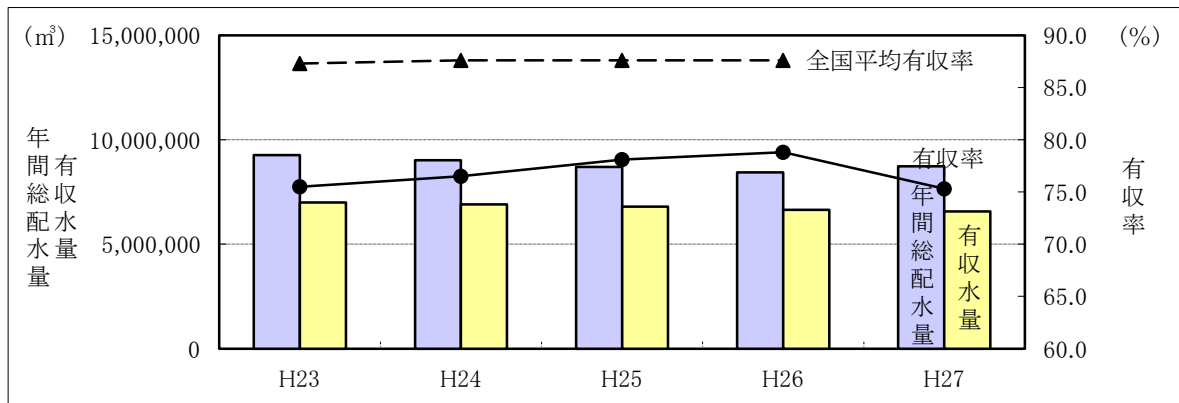
平成28年3月末現在、給水人口は65,864人(前年度比206人減、0.3%減)、給水件数は29,113件(前年度比142件増、0.5%増)で、年間給水量(有収水量)は6,570,625^m (前年度比71,831^m減、1.1%減)、有収率は75.3%(前年度比3.5ポイント減)となっている。

平成26年度に見直した水道事業経営健全化計画に基づき、持続可能な事業運営の実現に努め、上水道基本計画及び第7次整備事業により、老朽施設の更新や耐震化、効率的な水運用のための施設統廃合などが引き続き実施された。

(単位:%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-------|
| | | | | | | 増減 | 増減率 |
| 給水人口(人) | 67,357 | 66,910 | 66,362 | 66,070 | 65,864 | △ 206 | △ 0.3 |
| 給水件数(件) | 28,768 | 28,792 | 28,850 | 28,971 | 29,113 | 142 | 0.5 |
| 年間総配水量(^m) | 9,264,097 | 9,024,777 | 8,697,689 | 8,431,972 | 8,724,910 | 292,938 | 3.5 |
| 有収水量(^m) | 6,996,304 | 6,906,754 | 6,795,616 | 6,642,456 | 6,570,625 | △ 71,831 | △ 1.1 |
| 有収率(%) | 75.5 | 76.5 | 78.1 | 78.8 | 75.3 | △ 3.5 | △ 4.4 |
| 全国平均有収率(%) | 87.3 | 87.6 | 87.6 | 87.6 | — | — | — |
| 職員数(人) | 21 | 21 | 18 | 17 | 16 | △ 1.0 | △ 5.9 |

※ 全国平均とは、地方公営企業年鑑の給水人口5～10万人未満の都市の平均をいう。



2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出(税込み)

事業収益は、予算に対して7,150,004円の減少となっているが、これは主に、特別利益が減少したことによるものである。

事業費用は、予算に対して63,444,748円の不用額を生じているが、これは主に、営業費用が減少したことによるものである。

収益的収入

(税込み) (単位:円、%)

| 区分 科目 | 予算額 | | 決算額 | | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|----------|---------------|-------|---------------|-------|------------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 水道事業収益 | 1,695,932,000 | 100.0 | 1,688,781,996 | 100.0 | △ 7,150,004 | 99.6 |
| 1 営業収益 | 1,419,612,000 | 83.7 | 1,424,399,155 | 84.3 | 4,787,155 | 100.3 |
| 2 営業外収益 | 262,112,000 | 15.5 | 264,382,841 | 15.7 | 2,270,841 | 100.9 |
| 3 特別利益 | 14,208,000 | 0.8 | 0 | 0.0 | △ 14,208,000 | 0.0 |

収益的支出

(税込み) (単位:円、%)

| 区分 科目 | 予算額 | | 決算額 | | 不用額 | 執行率 |
|----------|---------------|-------|---------------|-------|------------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 水道事業費用 | 1,644,681,000 | 100.0 | 1,581,236,252 | 100.0 | 63,444,748 | 96.1 |
| 1 営業費用 | 1,449,290,000 | 88.1 | 1,391,808,061 | 88.0 | 57,481,939 | 96.0 |
| 2 営業外費用 | 190,891,000 | 11.6 | 187,138,464 | 11.8 | 3,752,536 | 98.0 |
| 3 特別損失 | 2,500,000 | 0.2 | 2,289,727 | 0.2 | 210,273 | 91.6 |
| 4 予備費 | 2,000,000 | 0.1 | 0 | 0.0 | 2,000,000 | 0.0 |

(2) 資本的収入及び支出 (税込み)

資本的収入は、予算に対して 64,949,625 円の減少となっているが、これは主に、企業債及び補助金が減少したことによるものである。

資本的支出は、予算に対して 107,452,409 円の不用額を生じているが、これは主に、建設改良費及び第7次整備事業が減少したことによるものである。なお、翌年度繰越額 48,000,000 円は建設改良費であり、下水道整備に伴う工事が繰り越されたことにより繰越しとなったものである。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 434,283,216 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 9,139,290 円、過年度分損益勘定留保資金 376,173 円、当年度分損益勘定留保資金 376,673,603 円、減債積立金 48,094,150 円で補てんされている。

資本的収入

(税込み) (単位:円、%)

| 区分 科目 | 予算額 | | 決算額 | | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|------------|-------------|-------|-------------|-------|------------------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 資本的収入 | 446,451,000 | 100.0 | 381,501,375 | 100.0 | △ 64,949,625 | 85.5 |
| 1 企業債 | 247,200,000 | 55.4 | 213,400,000 | 55.9 | △ 33,800,000 | 86.3 |
| 4 分担金及び負担金 | 121,118,000 | 27.1 | 112,709,375 | 29.6 | △ 8,408,625 | 93.1 |
| 5 補助金 | 78,133,000 | 17.5 | 55,392,000 | 14.5 | △ 22,741,000 | 70.9 |
| 6 固定資産売却代金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |

資本的支出

(税込み) (単位:円、%)

| 科目 | 区分 | 予算額 | | 決算額 | | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|----|---------|-------------|-------|-------------|-------|------------|-------------|------|
| | | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | | |
| 1 | 資本的支出 | 971,237,000 | 100.0 | 815,784,591 | 100.0 | 48,000,000 | 107,452,409 | 84.0 |
| 1 | 建設改良費 | 320,987,000 | 33.0 | 225,026,230 | 27.6 | 48,000,000 | 47,960,770 | 70.1 |
| 2 | 企業債償還金 | 496,350,000 | 51.1 | 496,049,361 | 60.8 | 0 | 300,639 | 99.9 |
| 5 | 第7次整備事業 | 152,900,000 | 15.8 | 94,709,000 | 11.6 | 0 | 58,191,000 | 61.9 |
| 15 | 予備費 | 1,000,000 | 0.1 | 0 | 0.0 | 0 | 1,000,000 | 0.0 |

3 経営成績

経営成績については、70、71ページの比較損益計算書のとおりである。

総収益は、1,584,494,573円で、前年度と比較して31,923,990円(2.0%)の減少となっている。

一方、総費用は、1,486,871,651円で、前年度と比較して130,186,899円(8.1%)の減少となっている。

本年度は、97,622,922円の純利益となり、黒字決算となっている。

(単位:円、%)

| 区分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 総収益 | 1,444,947,249 | 1,415,898,617 | 1,385,242,042 | 1,616,418,563 | 1,584,494,573 | △ 31,923,990 | △ 2.0 |
| うち給水収益 | 1,375,176,571 | 1,358,964,682 | 1,337,462,812 | 1,311,820,112 | 1,296,051,701 | △ 15,768,411 | △ 1.2 |
| 総費用 | 1,425,775,535 | 1,383,196,059 | 1,364,261,928 | 1,617,058,550 | 1,486,871,651 | △ 130,186,899 | △ 8.1 |
| うち営業費用 | 1,227,249,054 | 1,196,568,999 | 1,191,023,270 | 1,354,331,573 | 1,343,007,167 | △ 11,324,406 | △ 0.8 |
| 当年度純利益 | 19,171,714 | 32,702,558 | 20,980,114 | 0 | 97,622,922 | 97,622,922 | 皆増 |
| 当年度純損失 | 0 | 0 | 0 | 639,987 | 0 | △ 639,987 | 皆減 |

(1) 収益

営業収益は1,320,123,939円で、前年度と比較して11,004,422円(0.8%)の減少となっている。主なものは給水収益が1,296,051,701円で、前年度と比較して15,768,411円(1.2%)減少したことによるものである。

営業外収益は264,370,634円で、前年度と比較して7,043,236円(2.6%)の減少となっている。主なものは長期前受金戻入239,871,150円で、前年度と比較して5,417,238円(2.2%)減少したことによるものである。

(2) 費用

営業費用は1,343,007,167円で、主なものは減価償却費605,009,940円、原水及び浄水費471,559,214円、配水及び給水費160,461,292円である。前年度と比較して11,324,406円(0.8%)の減少となっているが、これは主に資産減耗費、業務費の減少によるものである。

営業外費用は141,733,923円で、前年度と比較して10,988,221円(7.2%)の減少となっている。主なものは支払利息及び企業債取扱諸費である。

特別損失は2,130,561円で、主なものは過年度損益修正損である。

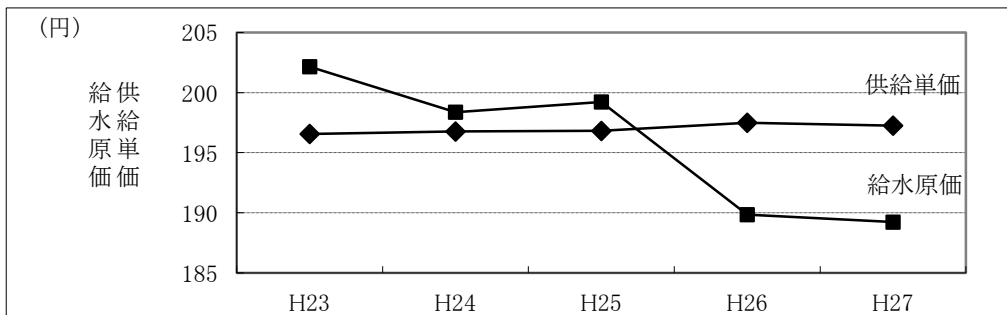
(3) 供給単価と給水原価

有収水量1 m³当たりの供給単価は197.25円、これに対する給水原価は189.23円となり、8.02円の収益となっている。

(単位:円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 全国平均 | 対前年度比較 | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 供給単価 | 196.56 | 196.76 | 196.81 | 197.49 | 197.25 | 171.06 | △ 0.24 | △ 0.1 |
| 給水原価 | 202.15 | 198.37 | 199.22 | 189.85 | 189.23 | 162.59 | △ 0.62 | △ 0.3 |
| 差 引 | △ 5.59 | △ 1.61 | △ 2.41 | 7.64 | 8.02 | 8.47 | — | — |

※ 全国平均とは、地方公営企業年鑑の給水人口5～10万人未満の都市の平成26年度の平均をいう。



ア 供給単価は、有収水量1 m³当たりについてどれだけの収益を得ているかを表すものであるが、前年度と比較して0.24円の減少となっている。

イ 給水原価は、有収水量1 m³当たりについてどれだけの費用がかかっているかを表すものであるが、前年度と比較して0.62円の減少となっている。

(4) 施設の利用状況

施設の利用状況は次表のとおりである。

(単位: %、ポイント)

| 区 分 | 算 式 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 全国 平均 | 対前年 度比較 |
|-------|--|------|------|------|------|------|----------|------------|
| 負 荷 率 | $\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$ | 86.5 | 85.4 | 85.7 | 84.0 | 76.8 | 86.0 | △ 7.2 |
| 施設利用率 | $\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$ | 48.1 | 46.9 | 45.2 | 43.9 | 42.8 | 59.2 | △ 1.1 |
| 最大稼働率 | $\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$ | 55.6 | 55.0 | 52.8 | 52.2 | 55.7 | 68.8 | 3.5 |

※ 全国平均とは、地方公営企業年鑑の給水人口5～10万人未満の都市の平成26年度の平均をいう。

ア 負荷率は、配水施設が平均的に稼働しているかを判断するものであるが、前年度と比較して7.2ポイントの低下となっている。

イ 施設利用率は、配水施設が有効に利用されているか、施設規模が適正かを判断するものであるが、前年度と比較して1.1ポイントの低下となっている。

ウ 最大稼働率は、施設能力が適正かを判断するものであるが、前年度と比較して3.5ポイントの上昇となっている。

4 財政状態

財政状態については、72、73ページの比較貸借対照表のとおりである。

(1) 資産

平成27年度末の資産の総額は15,224,834,912円で、前年度と比較して298,438,929円(1.9%)の減少となっている。

ア 固定資産は14,534,384,335円で、主なものは、有形固定資産の構築物13,218,069,520円である。前年度と比較して309,741,998円(2.1%)の減少となっている。

イ 流動資産は688,184,577円で、主なものは、現金預金531,240,408円である。前年度と比較して15,139,669円(2.2%)の増加となっている。

ウ 未収金は152,787,206円で、前年度と比較して3,991,242円(2.5%)の減少となっている。このうち水道料金の未収金については、窓口業務等委託事業者により下水道使用料とあわせて滞納整理が行なわれ、毎月(1月除く)の給水停止処分や夜間訪問等を実施している。直営業務では、支払督促の申し立てを2件実施する一方、回収困難な未収金1,825,799円(税込み)の不納欠損処分等の滞納整理が行われた結果、前年度と比較して11,434,395円(税込み)、(24.7%)減少の34,835,129円(税込み)となっている。

不納欠損処分については、すべて適正に処理されていると認められたが、公平性確保の観点から今後も厳正を期するよう努められたい。

(単位:円、%)

| 区 分 科 目 | 内 容 | 平成27年度 未収金額 | 平成26年度 未収金額 | 対前年度比較 | |
|------------|---|----------------|----------------|--------------|--------|
| | | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業未収金 | | 44,971,684 | 58,261,676 | △ 13,289,992 | △ 22.8 |
| 未収給水収益 | 水道料金 | 34,835,219 | 46,269,614 | △ 11,434,395 | △ 24.7 |
| その他営業未収金 | 開栓手数料、検査手数料、メーター材料代、消火栓維持管理・修理負担金、下水道使用料算出業務負担金 | 10,136,465 | 11,992,062 | △ 1,855,597 | △ 15.5 |
| 営業外未収金 | | 123,901 | 267,912 | △ 144,011 | △ 53.8 |
| 営業外未収金 | 修繕等作業費、定期預金利息 | 123,901 | 267,912 | △ 144,011 | △ 53.8 |
| その他未収金 | | 112,045,621 | 104,402,860 | 7,642,761 | 7.3 |
| その他未収金 | 国庫補助金、配水管布設替補償費、工事負担金加入金、土地売却収入 | 112,045,621 | 104,402,860 | 7,642,761 | 7.3 |
| 計 | | 157,141,206 | 162,932,448 | △ 5,791,242 | △ 3.6 |

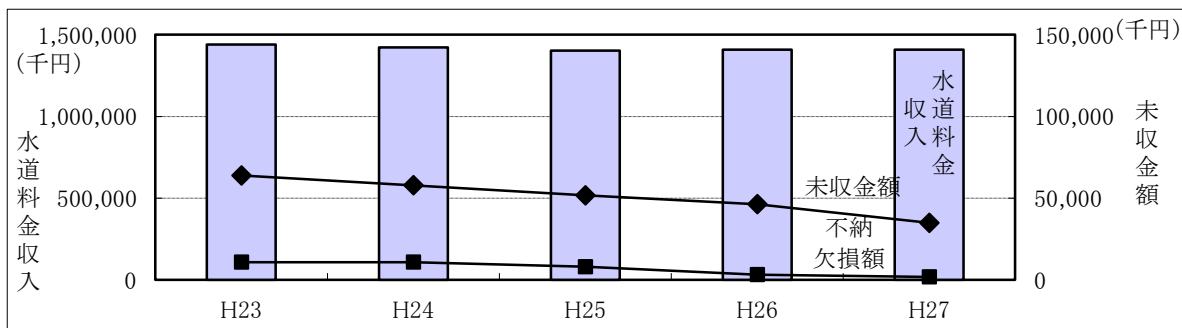
※貸借対照表における未収金は、貸倒引当金4,354,000円を控除した金額152,787,206円である。

水道料金収入・不納欠損額・未収金額推移

(税込み) (単位:円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 水道料金収入 | 1,439,381,555 | 1,421,935,036 | 1,402,455,392 | 1,409,294,733 | 1,408,643,581 | △ 651,152 | 0.0 |
| 不納欠損額 | 10,852,224 | 10,858,593 | 8,003,230 | 3,212,035 | 1,825,799 | △ 1,386,236 | △ 43.2 |
| 未 収 金 額 | 63,823,085 | 57,867,403 | 51,669,990 | 46,269,614 | 34,835,219 | △ 11,434,395 | △ 24.7 |

※ 現年度分及び過年度分の金額の合計額。



(2) 負債及び資本

平成27年度末の負債及び資本の合計は15,224,834,912円で、負債12,143,047,691円、資本3,081,787,221円となっている。

ア 固定負債は5,517,036,726円で、企業債と引当金である。前年度と比較して297,803,061円(5.1%)の減少となっている。

イ 流動負債は773,957,274円で、前年度と比較して18,859,150円(2.4%)の減少となっている。主なものは、企業債497,005,061円と未払金251,581,405円である。

ウ 繰延収益は5,852,053,691円で、主なものは工事負担金5,066,627,877円である。

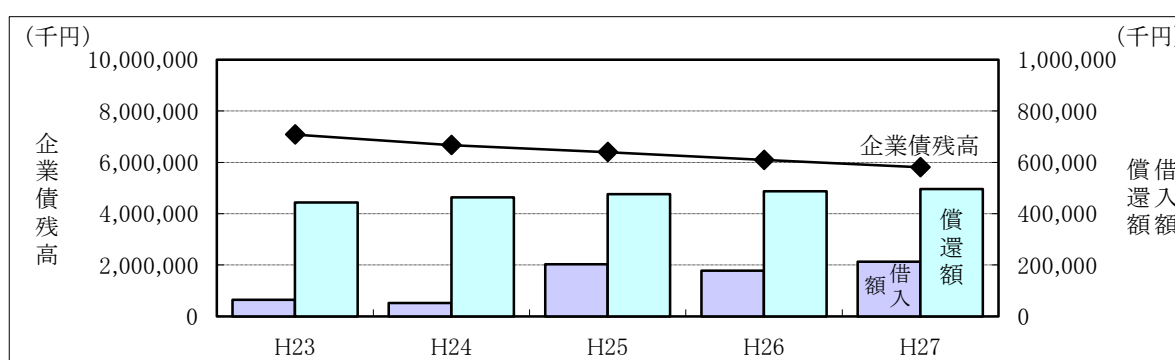
エ 資本金は2,750,086,408円で、前年度と比較して1,129,969,072円(69.7%)の増加となっている。

オ 剰余金は331,700,813円で、前年度と比較して1,031,646,150円(75.7%)の減少となっている。主なものは、当年度未処分利益剰余金145,717,072円である。

企業債借入額・償還額・残高の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 借 入 額 | 64,500 | 52,000 | 203,300 | 178,500 | 213,400 | 34,900 | 19.6 |
| 償 還 額 | 444,129 | 463,439 | 475,720 | 487,650 | 496,049 | 8,399 | 1.7 |
| 企業債残高 | 7,082,689 | 6,671,250 | 6,398,830 | 6,089,681 | 5,807,031 | △ 282,650 | △ 4.6 |



(3) 財務比率

財務比率については次表のとおりである。自己資本構成比率は、前年度比1.3ポイントの増、固定資産対長期資本比率は、前年度比0.2ポイントの減、流動比率は前年度比4.0ポイントの増となった。

(単位: %、ポイント)

| 区 分 | 算 式 | H27 | H26 | 全国平均 | 対前年度比較 |
|-------------|--|-------|-------|-------|--------|
| 自己資本構成比率 | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$ | 58.7 | 57.4 | 68.6 | 1.3 |
| 固定資産対長期資本比率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 100.6 | 100.8 | 90.7 | △ 0.2 |
| 流動比率 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 88.9 | 84.9 | 336.0 | 4.0 |

※ 全国平均とは、地方公営企業年鑑の給水人口5～10万人未満の都市の平成26年度の平均をいう。

5 総括的意見

地方公営企業会計基準の見直しにより、退職給付引当金 17,833,881 円(皆増)となったが、前年度計上したその他特別損失は皆減し、資産減耗費 26,339,820 円(77.6%)、支払利息及び企業債取扱諸費 10,363,512 円(7.0%)、職員 1 名減による人件費が減少したことなどにより純利益で 97,622,922 円を計上するなど、経営努力は評価するところである。

事業状況では、平成 26 年度と比べ給水件数が 142 件(0.5%)増加したものの、給水人口は 206 人(0.3%)減少し、年間給水量(有収水量)は 71,831 m³(1.1%)の減少となった。

人口の減少や節水意識の高まり等厳しい経営環境にあるなかで、今後も安定的な水道水の供給のために、老朽施設の更新や耐震化を計画的に行っていく必要があるが、配水量の減少に伴い施設利用率は 50%を下回っている。有収率についても、前年度は回復傾向にあったが、3.5%低下し 75.3%となった。県内 19 市の平均(平成 26 年度決算 82.5%)に比べても依然低い水準にある。施設利用率の向上及び有収率向上に向け計画的な老朽管更新などにより更に費用を節減する必要がある。

依然厳しい経営状況の下、将来にわたり安定した経営を行っていくために、伊那市水道事業経営健全化計画に基づき、3 年毎の水道料金の見直し、事業の優先度、財源などを検討し、効率的な事業執行と業務体制の合理化等により更なる経営の健全化に努められたい。

水道料金の未収金は、職員や委託事業者の努力により着実に減少してきている。今後も委託事業者と協力して、毅然とした態度で給水停止を実施することなどにより回収に努められたい。

水道事業比較損益計算書

| 区 分 科 目 | 借 方 | | | | | |
|----------------------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|--------|
| | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度比較 | |
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 2 営業費用 | 1,343,007,167 | 90.3 | 1,354,331,573 | 83.6 | △ 11,324,406 | △ 0.8 |
| (1)原水及び浄水費 | 471,559,214 | 31.7 | 465,421,284 | 28.8 | 6,137,930 | 1.3 |
| (2)配水及び給水費 | 160,461,292 | 10.8 | 159,180,750 | 9.8 | 1,280,542 | 0.8 |
| (3)受託工事費 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (4)業務費 | 44,813,272 | 3.0 | 50,866,549 | 3.1 | △ 6,053,277 | △ 11.9 |
| (5)総係費 | 52,046,970 | 3.5 | 43,991,701 | 2.7 | 8,055,269 | 18.3 |
| (6)減価償却費 | 605,009,940 | 40.7 | 600,250,856 | 37.1 | 4,759,084 | 0.8 |
| (7)資産減耗費 | 7,586,428 | 0.5 | 33,926,248 | 2.1 | △ 26,339,820 | △ 77.6 |
| (8)その他営業費用 | 1,530,051 | 0.1 | 694,185 | 0.0 | 835,866 | 120.4 |
| 4 営業外費用 | 141,733,923 | 9.6 | 152,722,144 | 9.5 | △ 10,988,221 | △ 7.2 |
| (1)支払利息及び 企業債取扱諸費 | 136,820,725 | 9.2 | 147,184,237 | 9.1 | △ 10,363,512 | △ 7.0 |
| (2)繰延勘定償却 | 3,836,600 | 0.3 | 4,116,600 | 0.3 | △ 280,000 | △ 6.8 |
| (3)雑支出 | 1,076,598 | 0.1 | 1,421,307 | 0.1 | △ 344,709 | △ 24.3 |
| 6 特別損失 | 2,130,561 | 0.1 | 110,004,833 | 6.9 | △ 107,874,272 | △ 98.1 |
| (1)固定資産売却損 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (2)過年度損益修正損 | 2,130,561 | 0.1 | 2,417,558 | 0.2 | △ 286,997 | △ 11.9 |
| (3)その他特別損失 | 0 | 0.0 | 107,587,275 | 6.7 | △ 107,587,275 | 皆減 |
| 小 計 | 1,486,871,651 | 100.0 | 1,617,058,550 | 100.0 | △ 130,186,899 | △ 8.1 |
| 当年度純利益 | 97,622,922 | — | 0 | — | 97,622,922 | 皆増 |
| 合 計 | 1,584,494,573 | — | 1,617,058,550 | — | △ 32,563,977 | △ 2.0 |

(税抜き)
(単位:円、%)

| 貸 方 | | | | | | | |
|-----|------------------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|--------|
| 科 目 | 区 分 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度比較 | |
| | | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 1 | 営業収益 | 1,320,123,939 | 83.3 | 1,331,128,361 | 82.4 | △ 11,004,422 | △ 0.8 |
| | (1)給水収益 | 1,296,051,701 | 81.8 | 1,311,820,112 | 81.2 | △ 15,768,411 | △ 1.2 |
| | (2)受託工事収益 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| | (3)その他の営業収益 | 24,072,238 | 1.5 | 19,308,249 | 1.2 | 4,763,989 | 24.7 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 3 | 営業外収益 | 264,370,634 | 16.7 | 271,413,870 | 16.8 | △ 7,043,236 | △ 2.6 |
| | (1)受取利息 及び配当金 | 366,055 | 0.0 | 993,819 | 0.0 | △ 627,764 | △ 63.2 |
| | (2)他会計補助金 | 22,689,000 | 1.4 | 23,952,000 | 1.5 | △ 1,263,000 | △ 5.3 |
| | (3)長期前受金戻入 | 239,871,150 | 15.2 | 245,288,388 | 15.2 | △ 5,417,238 | △ 2.2 |
| | (4)雑収益 | 1,444,429 | 0.1 | 1,179,663 | 0.1 | 264,766 | 22.4 |
| 5 | 特別利益 | 0 | 0.0 | 13,876,332 | 0.8 | △ 13,876,332 | 皆減 |
| | (1)固定資産売却益 | 0 | 0.0 | 7,071,900 | 0.4 | △ 7,071,900 | 皆減 |
| | (2)過年度損益修正益 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| | (3)その他特別利益 | 0 | 0.0 | 6,804,432 | 0.4 | △ 6,804,432 | 皆減 |
| | 小 計 | 1,584,494,573 | 100.0 | 1,616,418,563 | 100.0 | △ 31,923,990 | △ 2.0 |
| | 当年度純損失 | 0 | — | 639,987 | — | △ 639,987 | 皆減 |
| | 合 計 | 1,584,494,573 | — | 1,617,058,550 | — | △ 32,563,977 | △ 2.0 |

(税抜き)

(単位:円、%)

| 貸 方 | | | | | | |
|---------------|----------------|-------|----------------|-------|-----------------|--------|
| 区 分 科 目 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度比較 | |
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 4 固定負債 | 5,517,036,726 | 36.2 | 5,814,839,787 | 37.4 | △ 297,803,061 | △ 5.1 |
| (1) 企業債 | 5,310,026,283 | 34.8 | 5,593,631,344 | 36.0 | △ 283,605,061 | △ 5.1 |
| イ 建設改良費等企業債 | 5,210,026,283 | 34.2 | 5,593,631,344 | 36.0 | △ 383,605,061 | △ 6.9 |
| ロ その他の企業債 | 100,000,000 | 0.6 | 0 | 0.0 | 100,000,000 | 皆増 |
| (2) 引当金 | 207,010,443 | 1.4 | 221,208,443 | 1.4 | △ 14,198,000 | △ 6.4 |
| イ 退職給付引当金 | 178,703,000 | 1.2 | 192,901,000 | 1.2 | △ 14,198,000 | △ 7.4 |
| ロ 修繕引当金 | 28,307,443 | 0.2 | 28,307,443 | 0.2 | 0 | 0.0 |
| 5 流動負債 | 773,957,274 | 5.4 | 792,816,424 | 5.2 | △ 18,859,150 | △ 2.4 |
| (1) 一時借入金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (2) 企業債 | 497,005,061 | 3.2 | 496,049,361 | 3.2 | 955,700 | 0.2 |
| イ 建設改良費等企業債 | 497,005,061 | 3.2 | 496,049,361 | 3.2 | 955,700 | 0.2 |
| (3) 未払金 | 251,581,405 | 2.1 | 273,939,137 | 1.8 | △ 22,357,732 | △ 8.2 |
| (4) 前受金 | 185,453 | 0.0 | 51,181 | 0.0 | 134,272 | 262.3 |
| (5) 引当金 | 11,193,000 | 0.0 | 10,983,000 | 0.1 | 210,000 | 1.9 |
| イ 賞与引当金 | 9,342,000 | 0.0 | 9,183,000 | 0.1 | 159,000 | 1.7 |
| ロ その他引当金 | 1,851,000 | 0.0 | 1,800,000 | 0.0 | 51,000 | 2.8 |
| (6) その他流動負債 | 13,992,355 | 0.1 | 11,793,745 | 0.1 | 2,198,610 | 18.6 |
| 6 繰延収益 | 5,852,053,691 | 38.3 | 5,932,153,331 | 38.2 | △ 80,099,640 | △ 1.4 |
| (1) 長期前受金 | 5,852,053,691 | 38.3 | 5,932,153,331 | 38.2 | △ 80,099,640 | △ 1.4 |
| イ 国庫補助金 | 173,877,943 | 1.1 | 149,467,574 | 1.0 | 24,410,369 | 16.3 |
| ロ 他会計補助金 | 64,249,290 | 0.4 | 37,984,840 | 0.2 | 26,264,450 | 69.1 |
| ハ 工事負担金 | 5,066,627,877 | 33.3 | 5,181,819,952 | 33.4 | △ 115,192,075 | △ 2.2 |
| ニ 受贈財産評価額 | 173,637,651 | 1.1 | 178,417,075 | 1.1 | △ 4,779,424 | △ 2.7 |
| ホ その他長期前受金 | 373,660,930 | 2.4 | 384,463,890 | 2.5 | △ 10,802,960 | △ 2.8 |
| 負債合計 | 12,143,047,691 | 79.9 | 12,539,809,542 | 80.8 | △ 396,761,851 | △ 3.2 |
| 7 資本金 | 2,750,086,408 | 18.0 | 1,620,117,336 | 10.4 | 1,129,969,072 | 69.7 |
| (1) 自己資本金 | 2,750,086,408 | 18.0 | 1,620,117,336 | 10.4 | 1,129,969,072 | 69.7 |
| 8 剰余金 | 331,700,813 | 2.1 | 1,363,346,963 | 8.8 | △ 1,031,646,150 | △ 75.7 |
| (1) 資本剰余金 | 80,237,078 | 0.5 | 79,610,482 | 0.5 | 626,596 | 0.8 |
| イ 受贈財産評価額 | 3,881,854 | 0.0 | 3,181,854 | 0.0 | 700,000 | 22.0 |
| ロ 加入金 | 74,004,781 | 0.5 | 74,004,781 | 0.5 | 0 | 0.0 |
| ハ その他資本剰余金 | 2,350,443 | 0.0 | 2,423,847 | 0.0 | △ 73,404 | △ 3.0 |
| (2) 利益剰余金 | 251,463,735 | 1.6 | 1,283,736,481 | 8.3 | △ 1,032,272,746 | △ 80.4 |
| イ 減債積立金 | 105,746,663 | 0.7 | 153,840,813 | 1.0 | △ 48,094,150 | △ 31.3 |
| ロ 建設改良積立金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| ハ 当年度未処分利益剰余金 | 145,717,072 | 0.9 | 1,129,895,668 | 7.3 | △ 984,178,596 | △ 87.1 |
| 資本合計 | 3,081,787,221 | 20.1 | 2,983,464,299 | 19.2 | 98,322,922 | 3.3 |
| 負債資本合計 | 15,224,834,912 | 100.0 | 15,523,273,841 | 100.0 | △ 298,438,929 | △ 1.9 |

Ⅱ 下水道事業会計

1 事業の概況

平成28年3月末現在、処理区域内人口 61,156 人(前年度比 824 人増、1.4%増)、処理区域内戸数 24,247 戸(前年度比 371 戸増、1.6%増)のうち、水洗化人口 53,085 人(前年度比 1,772 人増、3.5%増)、水洗化戸数 19,534 戸(前年度比 782 戸増、4.2%増)で、水洗化率は 86.8%(前年度比 1.7ポイント増)となり、年間有収水量は 5,151,495 m³(前年度比 105,892 m³増、2.1%増)となっている。

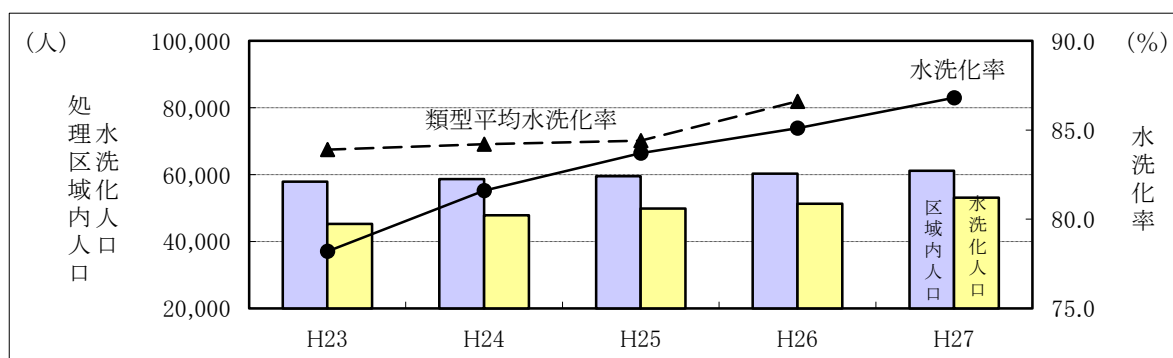
平成26年度に見直した下水道事業経営健全化計画に基づき、時代の変化に対応できる持続的な事業経営の実現に努め、公共下水道伊那処理区ほか4処理区で面的整備が進められるとともに、特環小出島浄化センター建設工事、伊那浄水管理センターの長寿命化に伴う施設再構築工事、伊那及び高遠処理区の下水道管路施設長寿命化計画の詳細設計等が実施された。

また、下水道への早期接続に向け、接続指導、融資あっせん制度、接続サポート補助金等の水洗化促進施策が推進された。

(単位: %)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|-------|
| | | | | | | 増減 | 増減率 |
| 処理区域内人口(人) | 57,905 | 58,670 | 59,553 | 60,332 | 61,156 | 824 | 1.4 |
| 水洗化人口(人) | 45,278 | 47,882 | 49,841 | 51,313 | 53,085 | 1,772 | 3.5 |
| 処理区域内戸数(戸) | 23,638 | 23,481 | 23,563 | 23,876 | 24,247 | 371 | 1.6 |
| 水洗化戸数(戸) | 16,845 | 17,637 | 18,249 | 18,752 | 19,534 | 782 | 4.2 |
| 水洗化率(%) | 78.2 | 81.6 | 83.7 | 85.1 | 86.8 | 1.7 | 2.0 |
| 類型平均水洗化率(%) | 83.9 | 84.2 | 84.4 | 86.6 | — | — | — |
| 有収水量(m ³) | 4,927,879 | 4,982,023 | 5,056,952 | 5,045,603 | 5,151,495 | 105,892 | 2.1 |
| 有収率(%) | 101.0 | 101.5 | 102.1 | 101.2 | 102.5 | 1.3 | 1.3 |
| 類型平均有収率(%) | 88.1 | 90.8 | 88.9 | 88.8 | — | — | — |
| 職員数(人) | 22 | 22 | 23 | 21 | 20 | △ 1.0 | △ 4.8 |

※ 類型平均とは、下水道事業経営指標(総務省)の類型区分により、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水の各事業ごと、伊那市の属する類型区分の平成26年度の決算データにより、水道業務課において算出したもの。



2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（税込み）

事業収益は、予算に対して7,189,940円の増加となっているが、これは主に、営業収益が増加したことによるものである。

事業費用は、予算に対して58,353,412円の不用額を生じているが、これは主に、営業費用が減少したことによるものである。

収益的収入

(税込み) (単位:円、%)

| 科目 | 予算額 | | 決算額 | | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|-----------|---------------|-------|---------------|-------|------------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 下水道事業収益 | 3,094,534,000 | 100.0 | 3,101,723,940 | 100.0 | 7,189,940 | 100.2 |
| 1 営業収益 | 1,192,511,000 | 38.5 | 1,195,465,147 | 38.5 | 2,954,147 | 100.2 |
| 2 営業外収益 | 1,893,072,000 | 61.2 | 1,894,935,159 | 61.1 | 1,863,159 | 100.1 |
| 3 特別利益 | 8,951,000 | 0.3 | 11,323,634 | 0.4 | 2,372,634 | 126.5 |

収益的支出

(税込み) (単位:円、%)

| 科目 | 予算額 | | 決算額 | | 不用額 | 執行率 |
|-----------|---------------|-------|---------------|-------|------------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 下水道事業費用 | 3,070,671,000 | 100.0 | 3,012,317,588 | 100.0 | 58,353,412 | 98.1 |
| 1 営業費用 | 2,384,969,000 | 77.7 | 2,338,317,762 | 77.6 | 46,651,238 | 98.0 |
| 2 営業外費用 | 649,266,000 | 21.1 | 640,560,375 | 21.3 | 8,705,625 | 98.7 |
| 3 特別損失 | 34,436,000 | 1.1 | 33,439,451 | 1.1 | 996,549 | 97.1 |
| 4 予備費 | 2,000,000 | 0.1 | 0 | 0.0 | 2,000,000 | 0.0 |

(2) 資本的収入及び支出（税込み）

資本的収入は、予算に対して144,758,520円の減少となっているが、これは主に、企業債が減少したことによるものである。

資本的支出は、予算に対して123,820,334円の不用額を生じているが、これは主に、建設改良費が減少したことによるものである。なお翌年度繰越額134,373,500円は全額建設改良費であり、地元との日程調整に不測の日数を要したこと等の理由で繰越しとなったものである。

資本的収入額が資本的支出に対して不足する額1,045,126,686円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,086,713円、過年度分損益勘定留保資金883,632,976円及び当年度分損益勘定留保資金158,406,997円で補てんされている。

資本的収入

(税込み) (単位:円、%)

| 科目 | 予 算 額 | | 決 算 額 | | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|------------|---------------|-------|---------------|-------|------------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 資本的収入 | 2,209,816,000 | 100.0 | 2,065,057,480 | 100.0 | △ 144,758,520 | 93.4 |
| 1 企 業 債 | 1,522,300,000 | 68.9 | 1,390,500,000 | 67.3 | △ 131,800,000 | 91.3 |
| 2 出 資 金 | 100,000,000 | 4.5 | 100,000,000 | 4.8 | 0 | 100.0 |
| 3 分担金及び負担金 | 114,074,000 | 5.2 | 118,849,320 | 5.8 | 4,775,320 | 104.2 |
| 4 補 助 金 | 473,442,000 | 21.4 | 455,708,160 | 22.1 | △ 17,733,840 | 96.3 |

資本的支出

(税込み) (単位:円、%)

| 科目 | 予 算 額 | | 決 算 額 | | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | 執行率 |
|---------------|---------------|-------|---------------|-------|-------------|-------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | | |
| 1 資本的支出 | 3,368,378,000 | 100.0 | 3,110,184,166 | 100.0 | 134,373,500 | 123,820,334 | 92.3 |
| 1 建 設 改 良 費 | 943,504,500 | 28.0 | 686,808,742 | 22.1 | 134,373,500 | 122,322,258 | 72.8 |
| 2 企 業 債 償 還 金 | 2,423,876,000 | 72.0 | 2,423,375,424 | 77.9 | 0 | 500,576 | 100.0 |
| 3 諸 費 | 50,000 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 50,000 | 0.0 |
| 5 予 備 費 | 947,500 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 947,500 | 0.0 |

3 経営成績

経営成績については、84、85ページの比較損益計算書のとおりである。

総収益は3,013,188,429円で、前年度と比較して23,067,702円(0.8%)の増加となっている。

一方、総費用は2,926,868,790円で、前年度と比較して91,573,127円(3.0%)の減少となっている。

これにより、当年度純利益は86,319,639円となり、平成25年度以来の黒字決算となった。

(単位:円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 総収益 | 2,344,719,506 | 2,330,608,259 | 2,326,613,927 | 2,990,120,727 | 3,013,188,429 | 23,067,702 | 0.8 |
| うち下水道使用料 | 1,017,791,635 | 1,062,456,421 | 1,077,672,382 | 1,074,461,620 | 1,096,087,044 | 21,625,424 | 2.0 |
| 総費用 | 2,426,109,331 | 2,384,175,693 | 2,322,370,590 | 3,018,441,917 | 2,926,868,790 | △ 91,573,127 | △ 3.0 |
| うち営業費用 | 1,660,480,775 | 1,657,288,776 | 1,629,052,060 | 2,295,668,339 | 2,301,635,435 | 5,967,096 | 0.3 |
| 当年度純利益 | 0 | 0 | 4,243,337 | 0 | 86,319,639 | 86,319,639 | 皆増 |
| 当年度純損失 | 81,389,825 | 53,567,434 | 0 | 28,321,190 | 0 | △ 28,321,190 | 皆減 |
| 未処理欠損金 | 2,131,083,074 | 2,184,650,508 | 2,180,407,171 | 1,481,411,139 | 1,395,091,500 | △ 86,319,639 | △ 5.8 |

(1) 収益

営業収益は1,107,204,211円で、前年度と比較して21,764,418円(2.0%)の増加となっている。主なものは下水道使用料1,096,087,044円であり、21,625,424円(2.0%)増加したものである。

営業外収益は1,894,673,505円で、前年度と比較して98,342円(0.0%)の減少となっている。主なものは他会計補助金1,144,373,000円と長期前受金戻入745,780,506円である。他会計補助金については、前年度と比較して6,448,000円(0.6%)の増加となっている。

(2) 費用

営業費用は2,301,635,435円で、前年度と比較して5,967,096円(0.3%)の増加となっている。主なものは減価償却費1,681,861,841円、処理場費417,862,050円である。

営業外費用は591,941,558円で、前年度と比較して48,080,984円(7.5%)の減少となっているが、これは主に、企業債利息が減少したことによるものである。

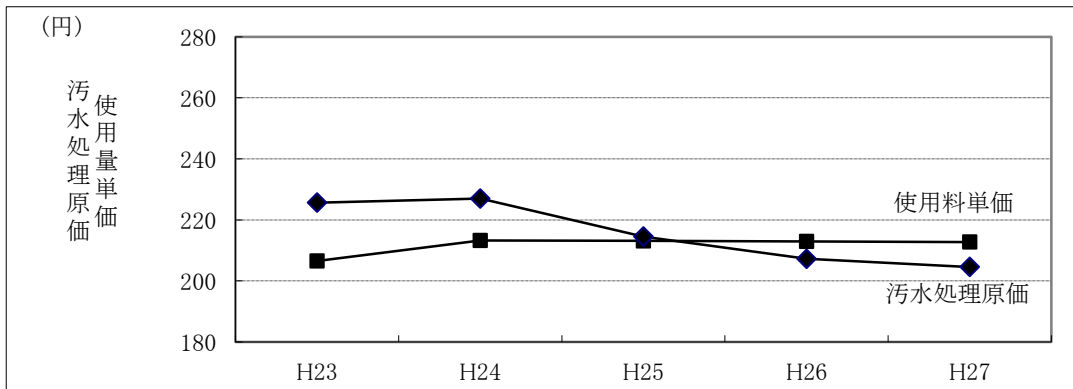
特別損失は33,291,797円で、主なものはその他特別損失31,435,659円であり、賞与引当金、退職給付引当金等を計上したものである。

(3) 使用料単価と汚水処理原価

有収水量1m³当たりの使用料単価は212.77円、これに対する汚水処理原価は204.59円となり、8.18円の収益となっている。

(単位:円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|--------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 使用料単価 | 206.54 | 213.26 | 213.11 | 212.95 | 212.77 | △ 0.18 | △ 0.1 |
| 汚水処理原価 | 225.67 | 226.99 | 214.55 | 207.24 | 204.59 | △ 2.65 | △ 1.3 |
| 差 引 | △ 19.13 | △ 13.73 | △ 1.44 | 5.71 | 8.18 | — | — |



ア 使用料単価は、有収水量 1 m³ 当たりについてどれだけの収益を得ているかを表すものであるが、前年度と比較して 0.18 円の低下となっている。

イ 汚水処理原価は、有収水量 1 m³ 当たりについてどれだけの費用がかかっているかを表すものであるが、前年度と比較して 2.65 円の低下となっている。

(4) 施設の利用状況

施設の利用状況は次表のとおりである。

| 区 分 | 算 式 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | (単位: %、ポイント) | |
|-------|--|------|------|------|------|------|--------------|--------|
| | | | | | | | 類型平均 | 対前年度比較 |
| 施設利用率 | $\frac{\text{一日平均処理水量}}{\text{一日処理能力}} \times 100$ | 51.7 | 52.1 | 50.3 | 50.6 | 50.0 | 100.0 | △ 0.6 |

※ 類型平均とは、下水道事業経営指標(総務省)の類型区分により、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水の各事業ごと、伊那市の属する類型区分の平成26年度の決算データにより、水道業務課において算出したもの。

ア 施設利用率は、汚水処理施設が有効に利用されているか、施設規模が適正かを判断するものであるが、前年度と比較して 0.6 ポイント低下している。

4 財政状態

財政状態については、86、87ページの比較貸借対照表のとおりである。

(1) 資産

平成27年度末の資産の総額は 59,449,264,931 円で、前年度と比較して 987,400,933 円(1.6%)の減少となっている。

ア 固定資産は 58,123,336,581 円で、前年度と比較して 1,123,302,336 円(1.9%)の減少となっている。主なものは、有形固定資産の構築物 51,037,789,037 円である。

イ 流動資産は 1,325,928,350 円で、前年度と比較して 135,901,403 円(11.4%)の増加となっている。主なものは、現金預金 1,115,167,110 円であり、160,606,424 円(16.8%)増加したことによるものである。

ウ 未収金は210,761,240円で、前年度と比較して24,705,021円(10.5%)の減少となっている。このうち下水道使用料の未収金については、窓口業務委託事業者により水道料金とあわせて滞納整理が行なわれ、長期未納者については差し押さえを6件実施する一方、回収困難な未収金1,361,567円(税込み)を不納欠損処分した結果、前年度と比較して8,161,215円(税込み、21.3%)減少の30,171,539円(税込み)となっている。

また、受益者負担金の未収金については、水道部全職員による強化月間等の取り組みにより滞納整理が行なわれ、長期未納者については差し押さえを9件実施する一方、回収困難な未収金115,400円を不納欠損処分した結果、前年度と比較して2,292,822円(16.0%)減少の12,022,274円となっている。

不納欠損処分については、すべて適正に処理されていると認められたが、公平性確保の観点から今後も厳正を期するよう努められたい。

(単位:円、%)

| 科 目 | 区 分 | 内 容 | 平成27年度 未収金額 | 平成26年度 未収金額 | 対前年度比較 | |
|--------|----------|----------------------------|----------------|----------------|--------------|--------|
| | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業未収金 | | | 38,647,138 | 46,206,503 | △ 7,559,365 | △ 16.4 |
| | 未収下水道使用料 | 下水道使用料 | 30,171,539 | 38,332,754 | △ 8,161,215 | △ 21.3 |
| | その他営業未収金 | 広域水質管理負担金、 移動脱水車他市町村負担金 | 8,475,599 | 7,873,749 | 601,850 | 7.6 |
| 営業外未収金 | | | 1,264,828 | 1,579,502 | △ 314,674 | △ 19.9 |
| | 営業外未収金 | 伊那浄水管理センター事務室使用料 等 | 1,264,828 | 1,579,502 | △ 314,674 | △ 19.9 |
| その他未収金 | | | 174,122,274 | 192,116,256 | △ 17,993,982 | △ 9.4 |
| | その他未収金 | 受益者負担金 | 12,022,274 | 14,315,096 | △ 2,292,822 | △ 16.0 |
| | | 工事負担金 国庫補助金・交付金・補償金 等 | 162,100,000 | 177,801,160 | △ 15,701,160 | △ 8.8 |
| | | 計 | 214,034,240 | 239,902,261 | △ 25,868,021 | △ 10.8 |

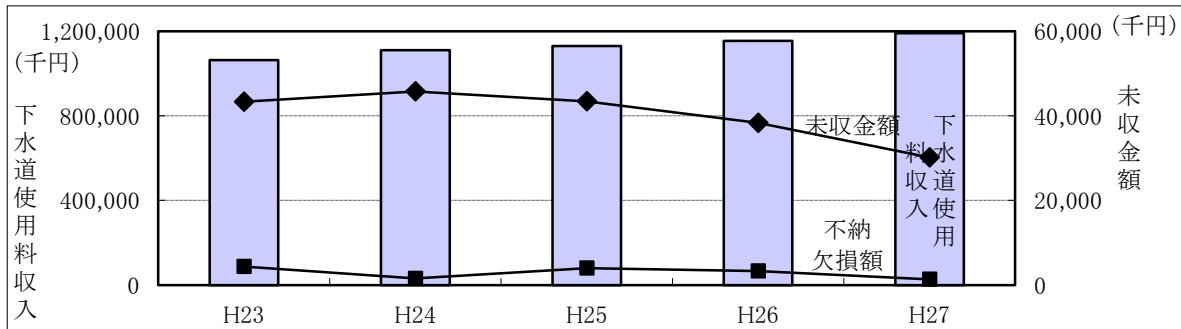
※貸借対照表における未収金は、貸倒引当金3,273,000円を控除した金額210,761,240円である。

下水道使用料収入・不納欠損額・未収金額推移

(税込み) (単位:円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|--------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 下水道使用料収入 | 1,063,477,319 | 1,111,558,962 | 1,129,871,109 | 1,154,213,100 | 1,190,710,888 | 36,497,788 | 3.2 |
| 不納欠損額 | 4,381,418 | 1,552,604 | 4,007,090 | 3,319,285 | 1,361,567 | △ 1,957,718 | △ 59.0 |
| 未 収 金 額 | 43,325,289 | 45,781,440 | 43,447,233 | 38,332,754 | 30,171,539 | △ 8,161,215 | △ 21.3 |

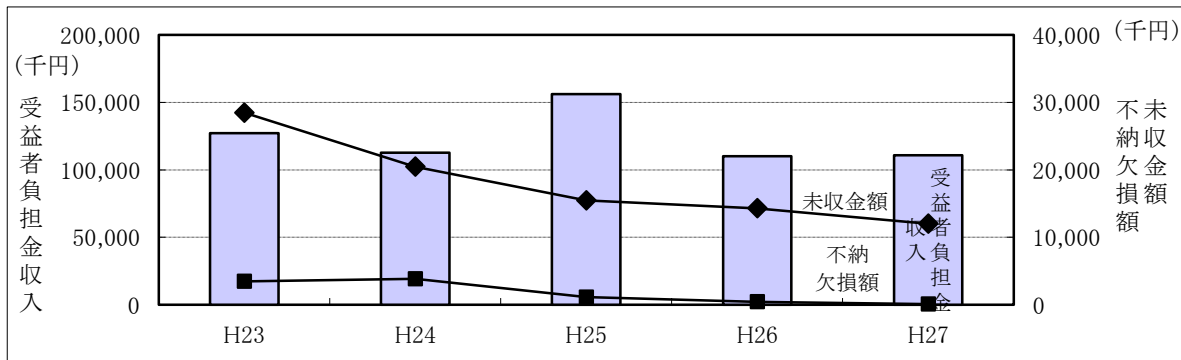
※ 現年度分及び過年度分の金額の合計額



受益者負担金収入・不納欠損額・未収金額推移

(単位:円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 受益者負担金収入 | 127,274,101 | 112,770,079 | 156,106,324 | 110,102,064 | 110,804,302 | 702,238 | 0.6 |
| 不納欠損額 | 3,484,300 | 3,850,600 | 1,134,000 | 459,985 | 115,400 | △ 344,585 | △ 74.9 |
| 未 収 金 額 | 28,465,258 | 20,478,509 | 15,473,615 | 14,315,096 | 12,022,274 | △ 2,292,822 | △ 16.0 |



(2) 負債及び資本

平成27年度末の負債及び資本の合計は59,449,264,931円で、負債57,870,798,500円、資本1,578,466,431円となっている。

ア 固定負債は33,312,117,851円で、前年度と比較して1,131,314,442円(3.3%)の減少となった。主なものは、企業債33,251,203,851円である。

イ 流動負債は2,864,785,555円で、前年度と比較して166,169,728円(6.2%)の増加となっている。主なものは、企業債2,502,021,519円や未払金348,455,831円である。

ウ 繰延収益は 21,693,895,094 円で、前年度と比較して 208,575,858 円(1.0%)の減少となっている。主なものは国庫補助金 12,076,102,251 円、受益者負担金 5,974,640,411 円である。

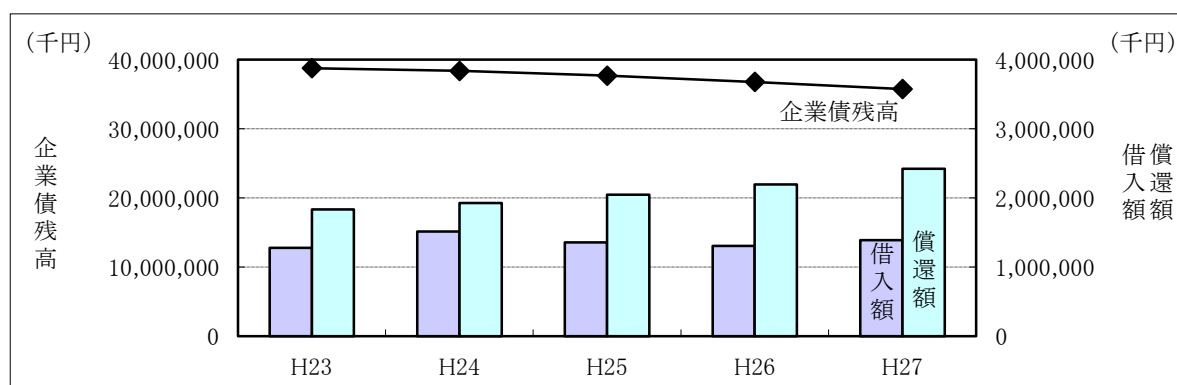
エ 資本金は 1,872,823,481 円で、前年度と比較して 100,000,000 円(5.6%)の増加となっている。これは一般会計からの繰入である。

オ 剰余金は△294,357,050 円で、前年度と比較して 86,319,639 円(22.7%)の減少となった。主なものは、当年度未処理欠損金 1,395,091,500 円である。

企業債借入額・償還額・残高の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|-------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 借 入 額 | 1,277,100 | 1,514,100 | 1,357,300 | 1,307,500 | 1,390,500 | 83,000 | 6.3 |
| 償 還 額 | 1,832,038 | 1,926,287 | 2,044,757 | 2,195,505 | 2,423,375 | 227,870 | 10.4 |
| 企 業 債 残 高 | 38,773,750 | 38,361,563 | 37,674,106 | 36,786,101 | 35,753,225 | △ 1,032,876 | △ 2.8 |



(3) 財務比率

財務比率については次表のとおりである。自己資本構成比率は、前年度比 0.6 ポイントの増、固定資産対長期資本比率は、前年度比 0.1 ポイントの増となった。

(単位: %、ポイント)

| 区 分 | 算 式 | H27 | H26 | 類型平均 | 対前年度比較 |
|-------------|---|-------|-------|-------|--------|
| 自己資本構成比率 | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収入}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ | 39.1 | 38.5 | 51.6 | 0.6 |
| 固定資産対長期資本比率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 102.7 | 102.6 | 101.9 | 0.1 |

※ 類型平均とは、下水道事業経営指標(総務省)の類型区分により、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水の各事業ごと、伊那市の属する類型区分の平成26年度の決算データにより、水道業務課において算出したもの。

5 総括的意見

平成26年度は地方公営企業会計基準の見直しにより、2,832万円の純損失となったものの、平成27年度は下水道使用料が水洗化戸数の増加や企業債利息、減価償却費、その他特別損失、修繕費の減少により管渠費が減少し、営業成績は8,632万円の純利益を計上するなど、経営努力は評価するところである。

一方で、平成27年度末の繰越欠損金は、13億9,509万円に減少したものの、今後も施設の更新や維持管理費等、建設改良事業に多額の費用が見込まれている。

水洗化率は、接続指導、接続サポート補助金、融資あっせん制度等の施策や職員の努力により年々上昇しているが、施設利用率は50%と類型平均と比較して低い水準になっている。下水道整備区域の見直しや行財政改革を推し進めているところではあるが、一層の水洗化率の向上による収入の確保や施設の統廃合等により施設利用率の向上を図り、費用を節減する必要がある。

将来にわたり安定した経営を行なっていくために、下水道事業経営健全化計画に基づき、3年毎の下水道使用料の見直し、事業の優先度、財源などを検討し、効率的な事業執行と業務体制の合理化等により更なる経営の健全化に努められたい。

下水道使用料の未収金は、水洗化率等の向上により調定額が増加しているなか、職員や委託事業者の努力により着実に減少してきている。今後も委託事業者と協力して、強制執行も含め毅然とした態度で回収に努められたい。

また、受益者負担金の未収金についても、職員の努力により着実に減少してきている。下水道使用料同様に毅然とした態度で回収に努められたい。

下水道事業比較損益計算書

| 借 方 | | | | | | |
|----------------------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|--------|
| 区 分 科 目 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度比較 | |
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 2 営業費用 | 2,301,635,435 | 78.7 | 2,295,668,339 | 76.1 | 5,967,096 | 0.3 |
| (1)管渠費 | 48,886,050 | 1.7 | 62,192,262 | 2.1 | △ 13,306,212 | △ 21.4 |
| (2)処理場費 | 417,862,601 | 14.3 | 416,213,643 | 13.8 | 1,648,958 | 0.4 |
| (3)受託工事費 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (4)業務費 | 42,027,806 | 1.4 | 37,958,695 | 1.2 | 4,069,111 | 10.7 |
| (5)総係費 | 53,192,344 | 1.8 | 56,437,529 | 1.9 | △ 3,245,185 | △ 5.8 |
| (6)減価償却費 | 1,681,864,841 | 57.5 | 1,722,866,210 | 57.1 | △ 41,001,369 | △ 2.4 |
| (7)資産減耗費 | 57,801,793 | 2.0 | 0 | 0.0 | 57,801,793 | 皆増 |
| (8)その他営業費用 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| 4 営業外費用 | 591,941,558 | 20.2 | 640,022,542 | 21.2 | △ 48,080,984 | △ 7.5 |
| (1)支払利息及び 企業債取扱諸費 | 591,465,777 | 20.2 | 639,483,559 | 21.2 | △ 48,017,782 | △ 7.5 |
| (2)繰延勘定償却 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (3)雑支出 | 475,781 | 0.0 | 538,983 | 0.0 | △ 63,202 | △ 11.7 |
| | | | | | | |
| 6 特別損失 | 33,291,797 | 1.1 | 82,751,036 | 2.7 | △ 49,459,239 | △ 59.8 |
| (1)固定資産売却損 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (2)過年度損益修正損 | 1,856,138 | 0.0 | 2,635,540 | 0.1 | △ 779,402 | △ 29.6 |
| (3)その他特別損失 | 31,435,659 | 1.1 | 80,115,496 | 2.6 | △ 48,679,837 | △ 60.8 |
| 小 計 | 2,926,868,790 | 100.0 | 3,018,441,917 | 100.0 | △ 91,573,127 | △ 3.0 |
| 当年度純利益 | 86,319,639 | — | 0 | — | 86,319,639 | 皆増 |
| 合 計 | 3,013,188,429 | — | 3,018,441,917 | — | △ 5,253,488 | △ 0.2 |

(税抜き)

(単位:円、%)

| 区 分 科 目 | | 貸 方 | | | | 対前年度比較 | |
|------------|------------------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|-------|
| | | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 増減額 | 増減率 |
| | | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | | |
| 1 | 営業収益 | 1,107,204,211 | 36.7 | 1,085,439,793 | 36.3 | 21,764,418 | 2.0 |
| | (1)下水道使用料 | 1,096,087,044 | 36.4 | 1,074,461,620 | 35.9 | 21,625,424 | 2.0 |
| | (2)受託工事収益 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| | (3)その他の営業収益 | 11,117,167 | 0.3 | 10,978,173 | 0.4 | 138,994 | 1.3 |
| | (4)分担金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 3 | 営業外収益 | 1,894,673,505 | 62.9 | 1,894,771,847 | 63.4 | △ 98,342 | 0.0 |
| | (1)受取利息 及び配当金 | 781,366 | 0.0 | 832,133 | 0.0 | △ 50,767 | △ 6.1 |
| | (2)他会計補助金 | 1,144,373,000 | 38.0 | 1,137,925,000 | 38.1 | 6,448,000 | 0.6 |
| | (3)長期前受金戻入 | 745,780,506 | 24.8 | 752,093,025 | 25.2 | △ 6,312,519 | △ 0.8 |
| | (4)雑収益 | 3,738,633 | 0.1 | 3,921,689 | 0.1 | △ 183,056 | △ 4.7 |
| 5 | 特別利益 | 11,310,713 | 0.4 | 9,909,087 | 0.3 | 1,401,626 | 14.1 |
| | (1)固定資産売却益 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| | (2)過年度損益修正益 | 177,701 | 0.0 | 0 | 0.0 | 177,701 | 皆増 |
| | (3)その他特別利益 | 11,133,012 | 0.4 | 9,909,087 | 0.3 | 1,223,925 | 12.4 |
| | 小 計 | 3,013,188,429 | 100.0 | 2,990,120,727 | 100.0 | 23,067,702 | 0.8 |
| | 当年度純損失 | 0 | — | 28,321,190 | — | △ 28,321,190 | 皆減 |
| | 合 計 | 3,013,188,429 | — | 3,018,441,917 | — | △ 5,253,488 | △ 0.2 |

(税抜き)
(単位:円、%)

| | | 貸 方 | | | | | |
|----------------------|-----------------|-------|-----------------|-------|-----------------|---------|--|
| 区 分 科 目 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度比較 | | |
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 | |
| 3 固定負債 | 33,312,117,851 | 56.0 | 34,443,432,293 | 57.0 | △ 1,131,314,442 | △ 3.3 | |
| (1) 企業債 | 33,251,203,851 | 55.9 | 34,365,822,293 | 56.9 | △ 1,114,618,442 | △ 3.2 | |
| イ 建設改良費の財源に充てるための企業債 | 28,307,820,066 | 47.6 | 29,846,141,829 | 49.4 | △ 1,538,321,763 | △ 5.2 | |
| ロ その他の企業債 | 4,943,383,785 | 8.3 | 4,519,680,464 | 7.5 | 423,703,321 | 9.4 | |
| (2) 引当金 | 60,914,000 | 0.1 | 77,610,000 | 0.1 | △ 16,696,000 | △ 21.5 | |
| イ 退職給付引当金 | 60,914,000 | 0.1 | 77,610,000 | 0.1 | △ 16,696,000 | △ 21.5 | |
| ロ 特別修繕引当金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| 4 流動負債 | 2,864,785,555 | 4.8 | 2,698,615,827 | 4.4 | 166,169,728 | 6.2 | |
| (1) 一時借入金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| (2) 企業債 | 2,502,021,519 | 4.2 | 2,420,278,501 | 4.0 | 81,743,018 | 3.4 | |
| イ 建設改良費の財源に充てるための企業債 | 1,951,524,840 | 3.3 | 1,930,261,511 | 3.2 | 21,263,329 | 1.1 | |
| ロ その他の企業債 | 550,496,679 | 0.9 | 490,016,990 | 0.8 | 60,479,689 | 12.3 | |
| (3) 未払金 | 348,455,831 | 0.6 | 265,810,323 | 0.4 | 82,645,508 | 31.1 | |
| (4) 前受金 | 188,609 | 0.0 | 8,175 | 0.0 | 180,434 | 2,207.1 | |
| (5) 引当金 | 11,522,000 | 0.0 | 11,396,000 | 0.0 | 126,000 | 1.1 | |
| イ 賞与引当金 | 9,460,000 | 0.0 | 9,761,000 | 0.0 | △ 301,000 | △ 3.1 | |
| ロ 修繕引当金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| ハ その他引当金 | 2,062,000 | 0.0 | 1,635,000 | 0.0 | 427,000 | 26.1 | |
| (6) その他流動負債 | 2,597,596 | 0.0 | 1,122,828 | 0.0 | 1,474,768 | 131.3 | |
| 5 繰延収益 | 21,693,895,094 | 36.5 | 21,902,470,952 | 36.3 | △ 208,575,858 | △ 1.0 | |
| (1) 長期前受金 | 21,693,895,094 | 36.5 | 21,902,470,952 | 36.3 | △ 208,575,858 | △ 1.0 | |
| イ 国庫補助金 | 12,076,102,251 | 20.3 | 12,333,213,733 | 20.5 | △ 257,111,482 | △ 2.1 | |
| ロ 県補助金 | 8,207,389 | 0.0 | 8,817,926 | 0.0 | △ 610,537 | △ 6.9 | |
| ハ 他会計補助金 | 1,453,116,681 | 2.4 | 1,275,629,071 | 2.1 | 177,487,610 | 13.9 | |
| ニ 受益者負担金 | 5,974,640,411 | 10.1 | 6,048,712,107 | 10.0 | △ 74,071,696 | △ 1.2 | |
| ホ 受贈財産評価額 | 114,767,135 | 0.2 | 116,094,320 | 0.2 | △ 1,327,185 | △ 1.1 | |
| ヘ その他長期前受金 | 2,067,061,227 | 3.5 | 2,120,003,795 | 3.5 | △ 52,942,568 | △ 2.5 | |
| 負債合計 | 57,870,798,500 | 97.3 | 59,044,519,072 | 97.7 | △ 1,173,720,572 | △ 2.0 | |
| 6 資本金 | 1,872,823,481 | 3.2 | 1,772,823,481 | 2.9 | 100,000,000 | 5.6 | |
| (1) 固有資本金 | 1,772,823,481 | 3.0 | 1,772,823,481 | 2.9 | 0 | 0.0 | |
| (2) 繰入資本金 | 100,000,000 | 0.2 | 0 | 0.0 | 100,000,000 | 皆増 | |
| イ 企業債 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| 7 剰余金 | △ 294,357,050 | △ 0.5 | △ 380,676,689 | △ 0.6 | 86,319,639 | △ 22.7 | |
| (1) 資本剰余金 | 1,100,734,450 | 1.9 | 1,100,734,450 | 1.8 | 0 | 0.0 | |
| イ 受贈財産評価額 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| ロ 寄附金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| ハ 工事負担金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| ニ 国庫(県)補助金 | 1,100,734,450 | 1.9 | 1,100,734,450 | 1.8 | 0 | 0.0 | |
| ホ 加入金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| ヘ 他会計補助金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| (2) 欠損金 | △ 1,395,091,500 | △ 2.4 | △ 1,481,411,139 | △ 2.4 | 86,319,639 | △ 5.8 | |
| イ 減債積立金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| ロ 建設改良積立金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — | |
| ハ 当年度未処理欠損金 | △ 1,395,091,500 | △ 2.4 | △ 1,481,411,139 | △ 2.4 | 86,319,639 | △ 5.8 | |
| 資本合計 | 1,578,466,431 | 2.7 | 1,392,146,792 | 2.3 | 186,319,639 | 13.4 | |
| 負債資本合計 | 59,449,264,931 | 100.0 | 60,436,665,864 | 100.0 | △ 987,400,933 | △ 1.6 | |

Ⅲ 自動車運送事業会計

1 事業の概況

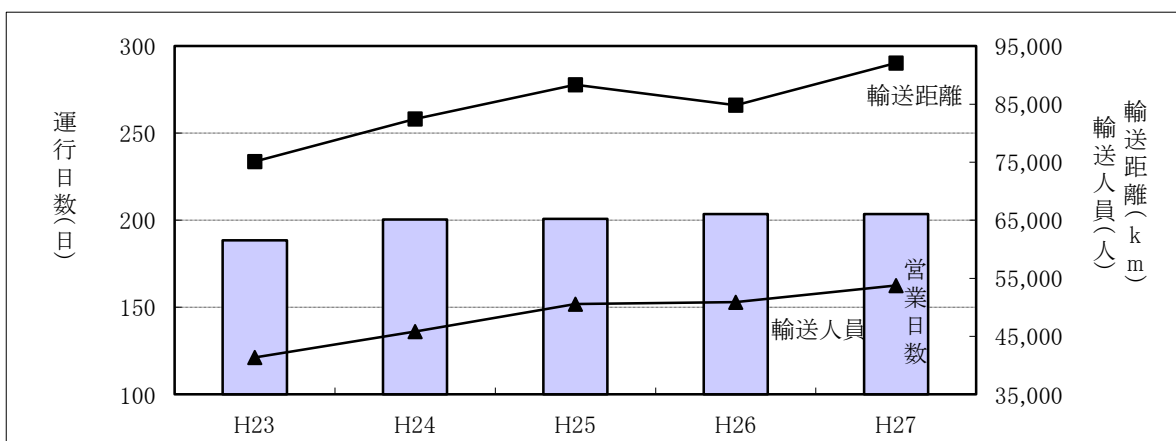
平成27年度の事業実績は、4月25日から11月15日までの205日間運行し、総輸送距離92,097km、延べ運送人員53,757人となり、平成18年度以降において最大人数となった。

平成27年度は全般的に天候に恵まれたことと南アルプスが周知され、また近年の高齢者層や女性の登山者の増加が集客につながった要因ともなっている。また、新たな取り組みとして、夏山登山の最盛期である7月13日から8月29日の土曜日に早朝便を設定するなど、混雑の緩和、利用者の利便が図られている。

道路パトロールを実施するとともに旅客窓口業務の充実を図り、接続するバス路線の管理者(南アルプス市、JRバス関東)との綿密な連携等により、全期間を通じて安全・無事故で運行された。

(単位:%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| | | | | | | 増減 | 増減率 |
| 営業日数(日) | 196 | 205 | 205 | 205 | 205 | 0 | 0.0 |
| うち運行日数(日) | 188.5 | 200.5 | 200.75 | 203.5 | 203.5 | 0.00 | 0.0 |
| うち運休日数(日) | 7.5 | 4.5 | 4.25 | 1.5 | 1.5 | 0.00 | 0.0 |
| 輸送距離(km) | 75,124 | 82,468 | 88,362 | 84,845 | 92,097 | 7,252 | 8.5 |
| 輸送人員(人) | 41,375 | 45,841 | 50,561 | 50,888 | 53,757 | 2,869 | 5.6 |
| 職員数(人) | 14 | 12 | 9 | 10 | 10 | 0.0 | 0.0 |
| うち臨時職員数(人) | 11 | 9 | 7 | 8 | 8 | 0.0 | 0.0 |



2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（税込み）

事業収益は、予算に対して 436,030 円の増加となっているが、これは主に、営業外収益が増加したことによるものである。

事業費用は、予算に対して 7,785,968 円の不用額を生じているが、これは主に、営業費用が減少したことによるものである。

収益的収入

(税込み) (単位:円、%)

| 科目 | 予算額 | | 決算額 | | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|---------|------------|-------|------------|-------|------------------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 事業収益 | 69,600,000 | 100.0 | 70,036,030 | 100.0 | 436,030 | 100.6 |
| 1 営業収益 | 67,600,000 | 97.1 | 67,794,914 | 96.8 | 194,914 | 100.3 |
| 2 営業外収益 | 2,000,000 | 2.9 | 2,241,116 | 3.2 | 241,116 | 112.1 |

収益的支出

(税込み) (単位:円、%)

| 科目 | 予算額 | | 決算額 | | 不用額 | 執行率 |
|---------|------------|-------|------------|-------|-----------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 事業費用 | 58,900,000 | 100.0 | 51,114,032 | 100.0 | 7,785,968 | 86.8 |
| 1 営業費用 | 53,170,000 | 90.3 | 47,575,932 | 93.1 | 5,594,068 | 89.5 |
| 2 営業外費用 | 4,730,000 | 8.0 | 3,538,100 | 6.9 | 1,191,900 | 74.8 |
| 4 予備費 | 1,000,000 | 1.7 | 0 | 0.0 | 1,000,000 | 0.0 |

(2) 資本的収入及び支出（税込み）

資本的収入は、予算額、決算額とも計上がなかった。

資本的支出は、事業用バス 1 台、アルコール検知器 1 台の購入によるものである。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 12,190,572 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 895,872 円、過年度分損益勘定留保資金 11,294,700 円で補てんされている。

資本的収入

(税込み) (単位:円、%)

| 科目 | 予算額 | | 決算額 | | 予算額に比べ 決算額の増減 | 収入率 |
|---------|-----|-----|-----|-----|------------------|-----|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | |
| 1 資本的収入 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |

資本的支出

(税込み) (単位:円、%)

| 科目 | 予算額 | | 決算額 | | 翌年度繰越額 | 不用額 | 執行率 |
|---------|------------|-------|------------|-------|--------|---------|------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | | | |
| 1 資本的支出 | 12,800,000 | 100.0 | 12,190,572 | 100.0 | 0 | 609,428 | 95.2 |
| 1 建設改良費 | 12,800,000 | 100.0 | 12,190,572 | 100.0 | 0 | 609,428 | 95.2 |

3 経営成績

経営成績については、92、93ページの比較損益計算書のとおりである。

総収益は64,932,005円で、前年度と比較して3,509,924円(5.7%)の増加となっている。

一方、総費用は46,905,981円で、前年度と比較して1,158,777円(2.4%)の減少となっている。

当年度純利益は18,026,024円となり、前年度と比較して4,668,701円(35.0%)の増加となっている。

なお、当年度未処分利益剰余金50,347,446円のうち18,026,024円は、利益積立金に902,000円、建設改良積立金に17,124,024円それぞれ積み立てられるものである。

(単位:円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|--------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 総収益 | 54,921,782 | 60,139,718 | 60,554,848 | 61,422,081 | 64,932,005 | 3,509,924 | 5.7 |
| うち運送収益 | 46,809,385 | 51,618,637 | 58,452,312 | 59,383,884 | 62,771,950 | 3,388,066 | 5.7 |
| 総費用 | 51,728,445 | 54,566,563 | 48,139,174 | 48,064,758 | 46,905,981 | △1,158,777 | △2.4 |
| うち営業費用 | 51,728,445 | 54,566,563 | 48,139,174 | 46,886,605 | 46,905,981 | 19,376 | 0.0 |
| 当年度純利益 | 3,193,337 | 5,573,155 | 12,415,674 | 13,357,323 | 18,026,024 | 4,668,701 | 35.0 |

(1) 収益

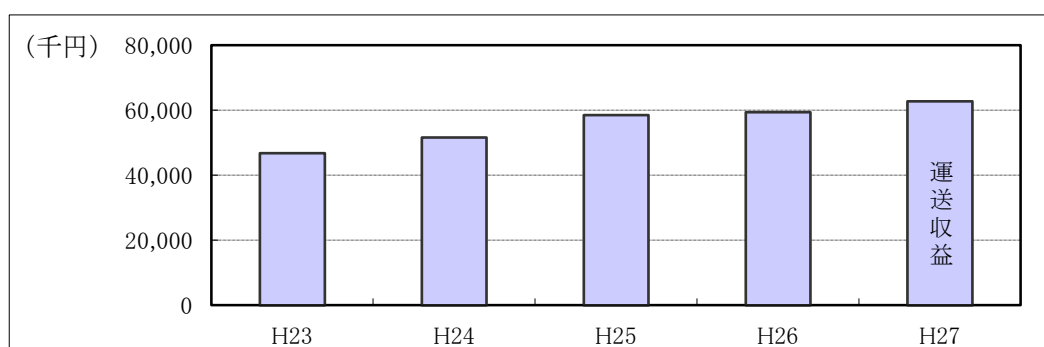
営業収益は62,773,158円で、前年度と比較して3,385,008円(5.7%)の増加となっている。主なものは運送収益62,771,950円である。

営業外収益は2,158,847円で、前年度と比較して124,916円(6.1%)の増加となっている。主なものは雑収益1,922,172円である。

運送収益の推移

(単位:千円、%)

| 区 分 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年度比較 | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 運送収益 | 46,809 | 51,619 | 58,452 | 59,384 | 62,772 | 3,388 | 5.7 |



(2) 費用

営業費用は46,905,981円で、主なものは運転費34,669,895円である。前年度と比較して19,376円の増加となった。

4 財政状態

財政状態については、94、95ページの比較貸借対照表のとおりである。

(1) 資産

平成27年度末の資産の総額は218,145,017円で、前年度と比較して27,636,225円(14.5%)の増加となっている。

ア 固定資産は24,934,301円で、前年度と比較して6,494,040円(35.2%)の増加となっている。主なものは、有形固定資産の車両運搬具20,825,492円である。

イ 流動資産は193,210,716円で、全額現金預金である。前年度と比較して21,142,185円(12.3%)の増加となっている。

(2) 負債及び資本

平成27年度末の負債及び資本の合計は218,145,017円で、負債31,123,001円、資本187,022,016円となっている。

ア 固定負債は前年同額の14,531,338円で、全額退職給付引当金である。

イ 流動負債は16,012,242円で、主なものは未払金14,727,242円であるが、引当金(賞与引当金等)を計上している。

ウ 繰延収益は前年同額の579,421円である。

エ 剰余金は187,022,016円で、前年度と比較して18,026,024円(10.7%)の増加となっているが、これは、利益剰余金が増加したことによるものである。主なものは、建設改良積立金134,652,570円である。

5 総括的意見

平成27年度も無事故で運行されたことは、職員の努力の結果であり高く評価する。今後も事業従事者の健康管理及び安全な運行を第一とし、開業以来の無事故が継続されるよう努力されたい。

また、新たな取り組みとして、夏山登山の最盛期である7月13日から8月29日の土曜日に早朝便を設定するなど、混雑の緩和、利用者の利便が図られているが、今後も利用者のニーズを把握し、関係部署や観光関係者と連携して乗客の増加策を検討するとともに、営業面では、経費の節減と収益の増加を図り、経営の効率化に努められたい。

自動車運送事業比較損益計算書

| 借 方 | | | | | | |
|----------------------|------------|-------|------------|-------|-------------|--------|
| 区 分 科 目 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度比較 | |
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 1 営業費用 | 46,905,981 | 100.0 | 46,886,605 | 97.5 | 19,376 | 0.0 |
| (1)運転費 | 34,669,895 | 73.9 | 35,020,619 | 72.9 | △ 350,724 | △ 1.0 |
| (2)車両修繕費 | 2,764,682 | 5.9 | 2,134,783 | 4.4 | 629,899 | 29.5 |
| (3)その他修繕費 | 432,770 | 0.9 | 285,675 | 0.6 | 147,095 | 51.5 |
| (4)固定資産減価償却費 | 4,568,160 | 9.7 | 5,232,921 | 10.9 | △ 664,761 | △ 12.7 |
| (5)施設損害保険料 | 380,708 | 0.8 | 385,778 | 0.8 | △ 5,070 | △ 1.3 |
| (6)施設使用料 | 308,214 | 0.7 | 310,065 | 0.6 | △ 1,851 | △ 0.6 |
| (8)一般管理費 | 3,549,052 | 7.6 | 3,516,764 | 7.3 | 32,288 | 0.9 |
| (9)資産減耗費 | 232,500 | 0.5 | 0 | 0.0 | 232,500 | 皆増 |
| 2 営業外費用 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (1)支払利息及び 企業債取扱諸費 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 3 特別損失 | 0 | 0.0 | 1,178,153 | 2.5 | △ 1,178,153 | 皆減 |
| (1)過年度損益修正損 | 0 | 0.0 | 33,363 | 0.1 | △ 33,363 | 皆減 |
| (2)その他特別損失 | 0 | 0.0 | 1,144,790 | 2.4 | △ 1,144,790 | 皆減 |
| | | | | | | |
| 小 計 | 46,905,981 | 100.0 | 48,064,758 | 100.0 | △ 1,158,777 | △ 2.4 |
| 当年度純利益 | 18,026,024 | — | 13,357,323 | — | 4,668,701 | 35.0 |
| 合 計 | 64,932,005 | — | 61,422,081 | — | 3,509,924 | 5.7 |

(税抜き)
(単位:円、%)

| 貸 方 | | | | | | | |
|-----|------------------|------------|-------|------------|-------|-----------|--------|
| 科 目 | 区 分 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度比較 | |
| | | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 1 | 営業収益 | 62,773,158 | 96.7 | 59,388,150 | 96.7 | 3,385,008 | 5.7 |
| | (1)運送収益 | 62,771,950 | 96.7 | 59,383,884 | 96.7 | 3,388,066 | 5.7 |
| | (2)運送雑収益 | 1,208 | 0.0 | 4,266 | 0.0 | △ 3,058 | △ 71.7 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 2 | 営業外収益 | 2,158,847 | 3.3 | 2,033,931 | 3.3 | 124,916 | 6.1 |
| | (1)受取利息 及び配当金 | 236,675 | 0.4 | 327,750 | 0.5 | △ 91,075 | △ 27.8 |
| | (2)他会計補助金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| | (4)雑収益 | 1,922,172 | 2.9 | 1,706,181 | 2.8 | 215,991 | 12.7 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 小 計 | 64,932,005 | 100.0 | 61,422,081 | 100.0 | 3,509,924 | 5.7 |
| | 当年度純損失 | 0 | — | 0 | — | 0 | — |
| | 合 計 | 64,932,005 | — | 61,422,081 | — | 3,509,924 | 5.7 |

(税抜き)
(単位:円、%)

| 貸 方 | | | | | | |
|---------------------------|-------------|-------|-------------|-------|------------|-------|
| 区 分 科 目 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 対前年度比較 | |
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | 増減額 | 増減率 |
| 4 固定負債 | 14,531,338 | 6.7 | 14,531,338 | 7.6 | 0 | 0.0 |
| (1) 企業債 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | — | — |
| イ 建設改良費等の財源 にあてるための企業債 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | — | — |
| ロ その他企業債 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | — | — |
| (2) 引当金 | 14,531,338 | 6.7 | 14,531,338 | 7.6 | 0 | 0.0 |
| イ 退職給付引当金 | 14,531,338 | 6.7 | 14,531,338 | 7.6 | 0 | 0.0 |
| 5 流動負債 | 16,012,242 | 7.3 | 6,402,041 | 3.4 | 9,610,201 | 150.1 |
| (1) 一時借入金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | — | — |
| (2) 企業債 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | — | — |
| イ 建設改良費等の財源 にあてるための企業債 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | — | — |
| ロ その他企業債 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | — | — |
| (3) 未払金 | 14,727,242 | 6.8 | 5,233,041 | 2.8 | 9,494,201 | 181.4 |
| (4) 引当金 | 1,285,000 | 0.6 | 1,169,000 | 0.6 | 116,000 | 9.9 |
| イ 賞与引当金 | 1,082,000 | 0.5 | 999,000 | 0.5 | 83,000 | 8.3 |
| ロ 法定福利費引当金 | 203,000 | 0.1 | 170,000 | 0.1 | 33,000 | 19.4 |
| (5) その他流動負債 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| 6 繰延収益 | 579,421 | 0.3 | 579,421 | 0.3 | 0 | 0.0 |
| (1) 長期前受金 | 579,421 | 0.3 | 579,421 | 0.3 | 0 | 0.0 |
| 負債合計 | 31,123,001 | 14.3 | 21,512,800 | 11.3 | 9,610,201 | 44.7 |
| 7 資本金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (1) 自己資本金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (2) 借入資本金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| 8 剰余金 | 187,022,016 | 85.7 | 168,995,992 | 88.7 | 18,026,024 | 10.7 |
| (1) 資本剰余金 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | — |
| (2) 利益剰余金 | 187,022,016 | 85.7 | 168,995,992 | 88.7 | 18,026,024 | 10.7 |
| イ 利益積立金 | 2,022,000 | 0.9 | 1,354,000 | 0.7 | 668,000 | 49.3 |
| ロ 建設改良積立金 | 134,652,570 | 61.7 | 121,963,247 | 64.0 | 12,689,323 | 10.4 |
| ハ 当年度未処分利益剰余金 | 50,347,446 | 23.1 | 45,678,745 | 24.0 | 4,668,701 | 10.2 |
| 資本合計 | 187,022,016 | 85.7 | 168,995,992 | 88.7 | 18,026,024 | 10.7 |
| 負債資本合計 | 218,145,017 | 100.0 | 190,508,792 | 100.0 | 27,636,225 | 14.5 |